



和紙の風合いや色合いを維持していただくために、以下の点についてご注意ください。
また、こまめなお手入れによって、より長く壁紙の美しさを保つ事ができます。
出来るだけ日常のメンテナンスをする事が大切です。

ご 注 意 事 項

- ① 長時間日光が当たる場所では、紫外線で色褪せしやすくなります。部屋をお使いにならない時は、カーテンやブラインド等で、できるだけ直射日光を避けるようにして下さい。
- ② 油性の汚れ（調理油、油性マジック等）に対する防汚性能はございません。
- ③ 粘着テープ（セロハンテープやガムテープ等）を貼らないで下さい。テープの粘着剤が移行し、変色や汚れの原因になります。また、粘着テープを剥がす際、表面を破損する事があります。
- ④ 極端なタバコの煙やキッチンからの油煙は、黄変させる場合がありますので、換気などでできるだけ避けて下さい。
- ⑤ 和紙の調湿機能を備えていますが、品質保持のため換気や湿度調整に心がけて下さい。
- ⑥ スプレー式の薬品（殺虫剤、化粧品等）を吹き付けしないで下さい。変色のおそれがあります。
- ⑦ 家具等を壁面に設置する際には、壁紙の破損をさけるためにも角を当てないようにご注意下さい。

メンテナンス方法

- ① ハタキを使ってこまめなお手入れをおすすめします。
- ② 汚れが付着した場合は、すぐにきれいなタオルやティッシュ等に水をたっぷり含ませて軽くたたきように拭き取って下さい。濡れた状態で強くこすると表面が破損し、色落ちの発生や撥水効果が失われます。長時間経過した汚れは和紙繊維の中に入り込み、落とすのが難しくなります。
- ③ 施工後、経時変化によって、部分的な剥がれが生じた場合は、下地の汚れを取り除いた後、木工用水性接着剤などを和紙裏面に付けて、十分に圧着します。